

八街市協働のまちづくり検討会分科会報告書

分科会名	第3分科会		
テーマ	防犯・防災・ボランティア		
開催日	平成 26年 5月30日	検討回数	第4回

検討結果概要

1. 今回検討した項目

- ・分科会員で検討事項、それについての現状と問題点、改善法を提案し検討を進める。
- ・資料をもとに、現状について議論を進める。

2. 今回の討議した内容(報告)

- これまでの分科会で議論された中で出された検討項目について、問題点、改善法について分科会メンバーにより報告され、これに基づいて議論を深めた。
- ・さまざまな組織、団体などが持っている情報の共有を、積極的に行う必要がある。
 - ・市民それぞれが住みたいまちづくりをするために、少しでもできることからする。
 - ・教育委員会では防犯関連メールの配信を行っているが、登録制なので関係者でなければ利用できない。もっとオープンにするべきではないか。
 - ・各種ボランティア、団体などの横のつながりがいいのではないか。
 - ・自主防災組織を組織するために、区民から出されたアイデアを元に意見集約していく方法であるKJ法を用いて、地域の現状に即した組織の立ち上げを行う。
- (KJ法:蓄積された情報から必要なものを取り出し、関連するものをつなぎあわせて整理し、統合する手法)
- ・自主防災組織について、まだ、組織数が少ない。各区等において、組織数を増やすことが求められる。この際にリーダーのあり方が重要となる。
 - ・各区には、さまざまな団体があるが、どの団体も構成員の高齢化、減少がみられ、実際の活動に支障をきたす場合がある。人の確保が必要である。
 - ・ひとりの人が、複数の団体に所属していて、実際に活動する人が限られている。
 - ・自助、共助、公助のなかで、まず自助が大切である。
 - ・社会福祉協議会において災害ボランティアの募集を計画している。
 - ・八街市には、防犯団体が少ないのではないか。もっと、団体の数、参加人数ともに増加することが望まれる。
 - ・日常通行している道路を、きれいに利用するために、できることをする。
 - ・市には多くの情報がある。この情報をどんどん公開して、市民との共有を進めるべきではないか。こうしたことで、市民も行政に関心を持ち、積極的に関わって行こうということになるのではないか。こういうことが協働の意識の広がりにつながるのではないか。

3. 次回の検討方針

- ・これまでの議論を踏まえて、中間発表に向けたアイデアの検討をする。